

令和3（2021）年度 追手門学院大手前中・高等学校 学校評価

1. 目指す学校像

グローバルマインドセットを鍛え世界に貢献できる人材を育成する。

2. 中期的目標

追手門学院の教育理念「独立自彊・社会有為」を体現する人材育成をすべての教育活動の根本とする。

そのために

- ① 生徒の第一志望進路実現100%
 - ② 新教育を実行する教育集団を作る「チーム追手門学院大手前」の完成
 - ③ 志願者あふれる学校
 - ④ 安心安全な学校の再構築
 - ⑤ 働き方改革の更なる推進
- を掲げた。

3. 自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見

（1）自己評価アンケートの結果

○生徒

すべての項目で一定以上のポイントを獲得しており、特にコロナ禍においての「安全な学校生活」においては高い評価を得ている。しかし、「学習意欲を高める取り組み」「学習習慣をつける取り組み」に関しては評価が低く、殊に「新施設の利用」に関しては学年によって大きな隔たりがあった。

○保護者

入学を勧める保護者が80%を超え2年連続で前年度を大きく上回った。項目別では「安全な学校生活」「アウトプット教育」「情報発信」などの満足度が高く、逆に「学習意欲を高める取り組み」「学習習慣が身につく指導」に関しては満足度が低い。

○分析

昨年度に比べ、保護者への情報発信が進み高い評価を受けつつあることは評価できるが、生徒、保護者共に「学習」に関する評価が低い。自習室の有効活用、さらなる教員の自己研鑽による授業改善が必要である。そしてそれを生徒たちの進路実現に結び付けていきたい。

(2) 学校関係者評価委員会からの意見

- ・学校経営目標は学校の目指す方向がよくわかる。
- ・コロナ禍における学校の取り組みは高く評価する。
- ・ICT には当然マイナスの面もあるがプラスの面を伸ばして行ってほしい。
- ・成功体験を増やす取り組みを進めてほしい
- ・人気校になってきたことがわかる。
- ・土曜日の活用など教員の働き方改革も推進してほしい。
- ・担任団の入れ替わりが少なく安定してきた。

4. 本年度の取り組み内容と評価

① 生徒の第一志望進路実現 100%を目指す。

- ・国公立大学および難関私立大学への進学者増加
- ・新しいシラバスの完成
- ・海外大学進学に向けての取り組み

(評価)

第一志望進路実現を達成できた生徒が62%であった。しかし、国公立大学への合格者数および、難関私立大学への合格者数は前年度の2倍になり、教育の成果が実を結びつつある。

保護者・教員のマインドセットも含めて徐々には改革が進んでいるが、今後も努力を続ける必要がある。

② 新教育を実行する教育集団を作る「チーム追手門学院大手前」の完成

- ・Global Science 教育の実践と徹底
- ・GA/GS コースの設立
- ・探究活動の充実
- ・英語教育、国際理解教育の改革
- ・海外研修の改革
- ・OM（追手門モジュール）の充実
- ・教員の授業力向上

(評価)

約2年間に及ぶコロナ禍の中でも生徒の学びを止めることなく、ICT機器を有効活用しながら教育活動を推進し続けた。今年度も生徒の満足度は80%を超え一定の成果を収めることができた。新しいGA（グローバルアカデミー）コース、GS（グローバルサイエンス）コースも無事に一期生40名を迎えることができた。探究活動に関しては中高6年間の追手門大手前独自の教育プログラム

を開発している。学校コンピテンシーである「探究力」を6年間でどのようにして子供たちに育んでいくか、今後も検討していきたい。

③ 志願者あふれる学校

- ・ GA/GS コースを柱とした広報活動の充実
- ・ 追手門学院小学校との連携強化

(評価)

中学校においては5年連続で入学定員を満たすことができた。(111名入学)
追手門学院小学校からも22名の児童の入学があり、本校の教育が徐々に理解されつつあるといえる。高等学校においては、進学コースの廃止などに伴い200名の入学者となったが、新設のGA/GSコース、SSコースはそれぞれ定員を大きく超える出願があった。

④ 安心安全な学校の再構築

- ・ リスクマネジメント力の強化
- ・ 教師力の底上げ

(評価)

本年度もコロナ禍の中での教育活動であったが、本校では大きな感染拡大もなく保護者も90%以上がコロナに対する取り組みに満足している。また、内部研修も含め多くの学びの機会を設けて、教師力向上に努めている。

⑤ 働き方改革の更なる推進

- ・ ICT 機器の積極的活用による校務の更なる軽減
- ・ 業務スクラップの推進
- ・ 働きやすい職場、笑顔の絶えない職場を作る

(評価)

ICT 機器の活用はさらに進んでおり、生徒の出欠や成績などがICTによって処理され、校務軽減につながった。また、土曜日の活用を見直すことにより、土休日の回数を増やしている。

5. 2022 年度の取り組み

- ① 生徒の第一志望進路実現 100%を目指し、スーパー進学校へのさらなる前進
 - ・ 国公立大学+医学部医学科合格者 30名 難関私立大学合格者 50名
 - ・ 生徒、保護者、教員のマインドセット
 - ・ 海外大学進学に向けての取り組み強化
- ② 新教育を実行する教員集団「チーム追手門大手前」の完成
 - ・ Global science 教育の実践と徹底による「探究力」の育成
 - ・ 授業における「3つの学び+リフレクション」の徹底
 - ・ 探究活動の充実
 - ・ GS・GA コースの教育内容確立
 - ・ 海外研修の改革（アジア・英語圏）
 - ・ SSH 認定に向けての取り組み
 - ・ OM のさらなる充実
- ③ 志願者あふれる学校
 - ・ 新教育並びに GA/GS を柱とした広報活動のさらなる強化
 - ・ 成績上位の受験生の獲得
 - ・ 追手門学院小学校との連携の強化
 - ・ 内部進学者の定着
- ④ 安心安全な学校の再構築
 - ・ 教師の社会人力強化
 - ・ リスクマネジメント力の向上
 - ・ 防災活動への取り組み
- ⑤ 働き方改革の更なる推進
 - ・ 情報の共有化に向けての工夫
 - ・ 働きやすい笑顔の絶えない職場を作る
 - ・ 週休2日制に向けてのネクストステップ
 - ・ ICT 機器の更なる有効活用